

に学びが多いと思います。起業家の聖地と呼ばれるアメリカのシリコンバレーで現地のリアルアントレプレナー（複数の事業を立ち上げている起業家）の間でよく交わされる話らしいのですが、「ビジネスを何回立ち上げたの」との質問に「2回だよ」と回答すると、「1回しか失敗していないだね。まだまだだね。5回失敗したらEven better って言われるんだよ、ここでは」と言われるそうです。

失敗すると、そこから学びがあったはずだから、次はもっとより良いものが作れるはずだね、と

いう文化があります。そのチャレンジングなところがとても良いなと思いました。私も、うまくいった時より失敗した時の方が分析したり考えたり

することは多かったと感じます。自分の伸びしろや得意、不得意を知るために、勉強だけではなく、色々なことに挑戦してください。

〈略歴〉2010年に星薬科大学薬学部を卒業後、パレクセル・インターナショナルにてCRAとして働き始める。その後、PPD（現在の新日本科学PPD）に転職。14年からはヤンセンファーマにてMSLとして学術担当に従事。夫の米国転勤に伴い、現地のJE

TRO（独立行政法人日本貿易振興機構）にて企業のビジネス開発に携わり、帰国後は製薬企業専門のコンサルティング会社に勤務。現在は、アイコン・ジャパンで医薬品開発のプロジェクトマネージャーとして国際共同治験を推進している。

カケハシ カスタマーサクセス 近藤 優美子さん

多くの職場見て志望先決める

——学生時代の就職活動時にはどのようなキャリア設計を考えていましたか。

将来の姿を描き始めたのは3年生くらいの時で、周りの文系の子たちが就職活動をしている姿を見て、こんなに世の中のことを知らないまま自分のキャリアを決めていいのだろうかと思うようになり、視野を広げるため、大学外の活動に参加するようになりました。

5年生になり、実習先の病院で、指導薬剤師の先生がしっかりと知識を持ち、自信と責任を持って医師や看護師に引けを取らずチーム医療に携わっている姿を見て、薬剤師がもっと社会的に評価される世界を作りたいと思いました。そのためには何をしたらいいかということを考え、まずは臨床現場を知ろうと、新卒は病院薬剤師として就職を考えました。

——就職活動で最初に取り組んだことは何ですか。

志望する病院は早期に決めていたのですが様々な病院の現場を知りたくて、5、6年生の時には病院見学や病院薬剤師に関連するイベントに参加していました。また、臨床に行くとは決めましたが、それが本当に正確なのかというのはずっと考え続けたくて、せっかく学生のうちなので時間も立場もしっかり活用しようと、医療系以外のインターンにも参加しました。

それらの経験も踏まえて改めて病院薬剤師を志望し、就職活動を本格的に始めたのが6年生の7月です。周りに比べてかなり遅かったのですが、同級

生の就職先が決まっている中、正直ハラハラしました。

——将来を考えた時、男女問わず、結婚や子育てなど、お仕事以外のライフプランも考える時があるかと思いますが、キャリアとの両立はどのようにしたのでしょうか。

私はコンサル時代に結婚して、今の会社（カケハシ）に転職してから2人の子供を授かりました。カケハシで働くメンバーはお子さんのいる方も多く、子育てに理解のある環境なので、仕事との両立はしやすいと感じています。キャリアとライフプランの両立に対する考え方は人それぞれです。働きやすさや子どもと一緒にいる時間を優先したいと考えて、働く環境を変える人もいるし、一方で、やりたいことがこの会社にあるんだと思って頑張る人や、私が子育てしても働ける事例を作るという人もいます。自分のやりたいことをやるためにはどうすればいいか、考えて動いていけば、どんな環境でもやりようはあるのかなと思っています。

新卒時の就職活動では、産休や育休制度の有無だけではなく「どれくらいの人が制度を利用しているか」「小さなお子さんがいる方がどれくらい働き続けているか」というところまで踏み込んで確認するようにしていました。新卒時では、単純に将来的キャリアとして聞いていると捉えられるので、聞きやすいと思います。将来的にその会社で産休や育休を取得する際に、どれくらい許容されますよね。聞ける時に聞くのがいいと思います。

——就職に向けて、学生のうちにしておいた方がよいことは何でしょうか。

本当に小さなことから始めるのでいいと思います。私も最初からいきなりビジネスコンテストや企業イベントに参加したのではなくて、大学内で



他学部の人のお話を聞けるような集まりや薬学生によく告知されているような製薬企業の方の講演会に参加しました。学生のみが集うイベントでも、価値観の違う人たちに出会うことも多く、そういう見方をしている人がいるんだという発見があったりします。知らない世界にいきなり飛び込むのはとても勇気が要りますから、まずは身近なところから参加してみるのがいいと思います。

学生のうちは、社会人のように立場や職種などに囚われずに社会を知ることがができますので、怖がらずにやってみると意外と受け入れてもらえて、色々なことを教えてくれると思います。

〈略歴〉2014年に東京大学薬学部を卒業し、都内の急性期病院に就職。臨床現場を経験し薬剤師のリアルを学ぶ。その後、17年に医療系コンサルファームのメディヴァに転職し、行政や企業目線で医療業界を見つめ、社会全体から薬剤師の姿を捉える。現在は、カケハシにて薬局業界の課題解決に取り組む。



Medisere Career

メディキャリNavi  は

薬学系就活のリーディングカンパニーを目指します！！

ご利用は
全て無料

就活 & 国試対策

STEP①

新規無料登録で特典GET!!
(参考書 or 過去問 or ドリル)



《《《 詳細/無料登録はこちら

STEP②

セミナー参加後、特典GET!!
(講習会年間パス、
1科目マスター講座 ets)

STEP③

内定 & 合格

お問合先：メディキャリ本部 TEL：06-6371-6123